



oh!

学校訪問 28

山手小学校

マイ、スクール

み
ん
な
の
広
場

「あいさつ」と「ちょボラ」

山手小学校 6年
生活委員長
山口 優香さん

「山手小学校の自慢は何ですか。」と聞かれたら、わたしたちは一番に「あいさつ」と答えます。特に「おはようございます。」と「ありがとうございます。」は、全校のみんなが言えるあいさつです。全校のみんなが、朝のあいさつが言えるように、児童会の生活委員会が中心になって「あいさつ運動」を行っています。生活委員が児童玄関に立ってあいさつ運動をしていると、登校してきた子がボランティアであいさつ運動に参加してくれます。生活委員だけで始めた運動も終わるころには大勢になっています。

また、授業中にプリントを配ってもらったときや、職員室から用事を終えて帰るとき、また、登下校でわたしたちを見守ってくださっている地域の人にであつたときには、「ありがとうございませ。」と言います。

もう一つの自慢は、「ちょボラ」です。これは「ちょっとボランティア」を短くした言葉で、周りの人のことを考えたあたたかい心を伝えるものです。トイレのスリッパ揃え、本の整頓、家での手伝い、地域の行事への参加など何でもよいのです。今年の夏休みも全校で「ちょボラカード」を利用してちょボラに挑戦しました。

わたしたちの自慢の「あいさつ」と「ちょボラ」をこれからも続けていきたいと思っています。

愉快な仲間たち

第28回 市民劇団みのかも



わたしたち「市民劇団みのかも」は、『一人一人が主役となって活動しよう!』をモットーに、演劇活動を行っています。1999年に岐阜県で行なわれた国民文化祭をきっかけに、坪内逍遙ゆかりの地にて演劇を広めようと発足しました。

団員は中学生から40代まで約15人。和気あいあいと役者から裏方までほとんど自分たちでこなしています。メンバーは随時募集中。未経験でも構いません。

演技の基本は普段の会話の延長です。特別難しくはありません。恥ずかしがり屋の人でもちゃんと舞台に立てるようになり、自分と違う人物を演

じることで、表現力がアップし他人の気持ちを理解できるようになります。

現在、年1回の公演を行なっていますが、今後、短編やリーディング(台本朗読劇)などのレパートリーを増やし気軽に楽しんでいただける舞台を目指したいと思います。12月15日(土)、16日(日)にみのかも文化の森にて、第8回公演「上田家の人々」を上演します。おかしくて少しほろりと心が温くなる舞台を、ぜひ見に来てください。

※楽しい、愉快的な仲間を紹介しませんか
詳細については、広報係へ